

フード連合 / 労働安全衛生ニュース! No.2

発行日: 2008年8月26日 発行局: フード連合(労働局) HP <http://www.jfu.or.jp/>

今回は、6月に実施致しました2007年度「労働安全衛生活動」取り組み調査の結果についてご報告致します。内容につきましては、各単組の2008春闘での「労働安全衛生活動」の取り組みについて、今年度(2007年4月～2008年3月までの期間)に発生した労働災害についてです。なお、各単組からご報告頂いた労働災害事故事例の中から労働局で選ばせて頂いた事例を掲載しております。

2007年度「労働安全衛生活動」取り組み調査結果

〈調査報告組合 99 組合(昨年 103 組合)〉

1. 2007 春闘での職場における労働安全衛生活動の取り組みについて

(1) 「改正労働安全衛生法等の周知や職場の総点検活動」について

“法律が変わったこと”の組合員への周知や職場の総点検を行って下さい!

「a. 取り組んだ」と答えた組合は 23 組合(24.0%)【昨年 36 組合(37.1%)】、「c. 会社が行っているのだから組合としては取り組まなかった」と答えた組合は 39 組合(40.6%)【昨年 38 組合(39.2%)】でした。まだ行っていない組合は早急に取り組を進めて下さい。

(1) 改正労働安全衛生法等の周知や職場の総点検活動について

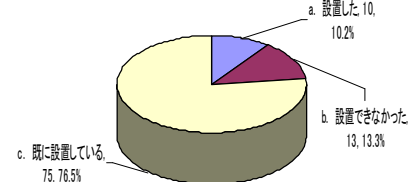


(2) 労使同数で構成する安全衛生委員会について

85 組合(86.7%)が労使同数の安全衛生委員会を設置しています! (内 50 人未満の組合 17 組合)

「a. 設置した」と答えた組合が 10 組合(10.2%)【昨年 14 組合(13.6%)】、「c. 既に設置している」と答えた組合が 75 組合(76.5%)【昨年 76 組合(73.8%)】、合わせて 85 組合(86.7%)【昨年 90 組合(87.4%)】が労使同数の安全衛生委員会を設置しています。なお、50 人未満の組合では 17 組合が設置しており、昨年とほぼ同じ報告となっています。

(2) 労使同数で構成する安全衛生委員会について

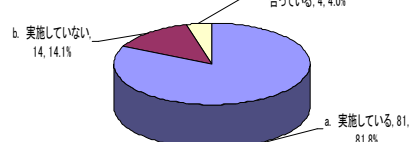


(3) 月 1 回以上の委員会の開催について

月 1 回以上委員会を開催していない組合は早急に対応して下さい!

81 組合(81.8%)【昨年 87 組合(85.3%)】が「a. 実施している」と答えています。なお、「c. 実施に向けて話し合っている」と答えた組合が 4 組合(4.0%)【昨年 2 組合(2.0%)】ありました。昨年同様、調査報告組合のうち 8 割以上の組合が、月 1 回以上委員会を開催しています。

(3) 月1回以上の委員会の開催について

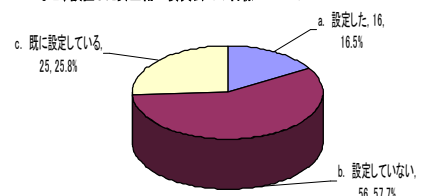


(4) メンタルヘルス対策、労働安全衛生マネジメントシステム導入など設置した安全衛生委員会での目標について

約 57%の組合が目標を設定していません!

「a. 設定した」と答えた組合が 16 組合(16.5%)【昨年 21 組合(21.0%)】、「c. 既に設定している」と答えた組合が 25 組合(25.8%)【昨年 30 組合(30.0%)】、合わせて 41 組合(42.3%)【昨年 51 組合(51.0%)】が安全衛生委員会において目標を設定しています。

(4) メンタルヘルス対策、労働安全衛生マネジメントシステム導入など、設置した安全衛生委員会での目標について



2. 今年度(2007年4月～2008年3月までの期間)に発生した労働災害の件数について

<報告件数の多い順ワースト3!>

- 1位 h. 交通事故 (306件)
- 2位 f. はさまれ・巻き込まれ (293件)
- 3位 b. 転倒 (209件)



【報告の傾向】 全体で1668件の報告がありました。

◆ 型別にみると、「h.交通事故」については306件(18.3%)と一番多い件数となっています。一部死亡事故等の報告をいただいておりますが、多くは「営業者による車庫入時のこすれ」等、ちょっとした不注意から起こる事故のようです。しかし、このようなちょっとした不注意が死亡事故を引き起こす場合も考えられます。交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。

◆ 二番目に多いのが「f.はさまれ・巻き込まれ」293件(17.6%)となっています。機械に不具合が生じた時に、スイッチをONにしたまま対応した場合の「はさまれ・巻き込まれ」が多いようです。必ず機械のスイッチをOFFにしてから対応するように心がけましょう。

◆ 三番目に多いのが「b.転倒」209件(12.5%)となっています。両手に物を持ったまま階段の上り下りをするのはやめましょう。手すりにつかまり、足元に注意し、滑りやすい所には気を付けて安全な職場作りを目指しましょう。

◆ なお、「i.その他」520件(31.2%)の内容としては、「作業中のカッター・ナイフ等による切傷、刺傷」が多く報告されています。特に食肉部会では、原料肉の処理中にナイフ・包丁等で手を切ってしまう場合が多いようです。また、腰痛・捻挫・打撲等の報告もありました。



	件数	%
a. 墜落・転落	112 (49)	6.7 (3.3)
b. 転倒	209 (186)	12.5 (12.6)
c. 飛来・落下	69 (53)	4.1 (3.6)
d. 崩壊・倒壊	7 (4)	0.4 (0.3)
e. 激突され	76 (54)	4.6 (3.7)
f. はさまれ・巻き込まれ	293 (247)	17.6 (16.8)
g. 高温・低温物との接触	76 (67)	4.6 (4.6)
h. 交通事故	306 (527)	18.3 (35.8)
i. その他	520 (285)	31.2 (19.4)
合計	1668 (1472)	100.0 (100.0)

※ カッコ内は昨年報告件数。

3. 労働災害事故事例

◆ 年齢・性別・雇用形態 ◆ 被災者の勤続・経験	◆ 災害発生状況 ① どのような場所で… ② どのような作業をしているときに… ③ どのようにして災害が発生したか。 ④ 災害の状態	◆ 組合・安全委員会等の対応
37歳・男性・正社員 勤続15年・職場経験2年	① 中国で車での移動中。 ② 海外事務所から空港への移動中。 ③ 交差点での交通事故。 ④ 死亡。	運転席、助手席はもちろん、後部座席もシートベルトの着用徹底を社内に通達。
24歳・男性・正社員 勤続5年・職場経験5年	① 1人作業でベース給出口。 ② 給の状態確認。 ③ 夜勤スタート時のベース給が固く、2分割ポンプで詰りが発生した為、ラインを停止し洗浄を行った。洗浄後、ラインを稼働させスクリーホッパーに手を掛けて内部を確認していたところ、すべって手袋ごと巻き込まれた。 ④ 右手第2指第2関節下切断 休業3日。	スクリー上部カバーに緊急停止スイッチを取り付け、カバー開放時にはスクリー、コンベアが停止するよう改善。作業手順書にスクリーに給が残っていた場合は、再洗浄を実施することを明記する。安全検討会の内容を踏まえ、再度作業手順書を作成。夜勤の入り時の体調管理については、チームリーダーが朝礼時に確認する。